

登録コード	E7204300	開講年度	2026				
授業科目	野外教育指導法演習					担当教員	瀧 直也
英文授業名	Seminar in Teaching Methods of Outdoor Education II					副担当	結城 匡啓・橋本 政晴
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	実技	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				野外活動の基本的技能について指導できるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				野外活動（キャンピング）に必要な知識，技術，安全な指導法等について習得する。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	教育学部1年生を対象とした授業「野外教育」において，各班付きのリーダーあるいは運営スタッフとして参加し，キャンピングの指導・運営経験を実践する。そのために必要な技能を身に付けるため，事前に1泊2日のトレーニングを併せて行い，以下のことについて学ぶ。 アイスブレイクゲーム・テント設営・ロープワーク・野外炊事等ができるようになるとともに，それらの効果的かつ安全な指導ができるようになる。 組織キャンプのスタッフとしての役割を習得する。						
(5)授業計画	学部での事前学習 ガイダンスの実施 第1回：6月27日(土)～28日(日)（国立信州高遠青少年自然の家，1泊2日） 第2回：8月24日(月)～29日(土)（国立信州高遠青少年自然の家，5泊6日） 第1回のトレーニングキャンプ 第1日目：アイスブレイクゲーム，テント設営，ロープワーク，野外炊事等の指導法 第2日目：課題解決ハイキング等の指導法，現地の下見 第2回の指導実践キャンプ 第1日目：現地での最終下見・打ち合わせ 第2日目：アイスブレイクゲーム，テント設営，ロープワーク，野外炊事等の指導 第3日目：課題解決ハイキング等の指導 第4日目：クラフト、アイスブレイクゲーム，テント設営，ロープワーク，野外炊事等の指導 第5日目：課題解決ハイキング等の指導 第6日目：クラフト等の指導						
(6)成績評価の方法	第1回・第2回の授業をとあしでの授業態度（50％）とレポート（50％）で評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	第1回・第2回の授業をとあしでの授業態度では，キャンプを運営するスタッフと協調して取り組めれば「水準にある」，第1回・第2回のいずれかにリーダーシップを発揮して取り組めば「やや上にある」，第1回・第2回のいずれにもリーダーシップを発揮して取り組めば「かなり上にある」，第1回・第2回のいずれにも突出したリーダーシップを発揮して取り組めば「卓越している」と評価する。 レポートでは，問題の設定が適切であり，その問題の背景を説明できており，その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており，その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 から の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。						
(8)事前事後学習の内容	ガイダンスで説明する内容を理解し，事前に必要な携行品等を準備する。 第1回授業で学んだことを第2回授業の指導実践の中で実施するため，第2回授業前に予習・復習をしておく。						
(9)履修上の注意	予習・復習などの授業時間外学修を適切に行うこと。 事前にガイダンスを実施する。ガイダンスに参加しない学生は，授業への参加を認めない。 第1回及び第2回のどちらも参加する。 キャンプ活動に必要な雨具・トレッキングシューズ等は、各自で準備する。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	メールにて受付ける。メールアドレス：taki@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特になし						
【参考文献】	なし						